

(別紙様式)

## 平成29年度学校評価の実施状況等調査

### 1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	0	0	0	95	3	12	110

※その他 ( )

### 2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	0	0				4

※その他 ( )

### 3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	142	39	0				181

※その他 ( )

### 4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(学校評議委員会)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(学校評議委員会)

### 5 平成28年度の学校評価を踏まえ、平成29年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

①「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の職員間、保護者との連携確認について学部会、家庭訪問等を利用し共通理解を図った。
②校内外の環境美化についてPTAと連携し高婦負のペンキ塗りやグラウンド側の木の伐採、CGG運動の取組を行った。
③ICT機器の活用についてVOCAの導入や授業においてiPadの活用等を行った。また視聴覚に関する校内研修等も取り入れた。
④いじめ問題について、アンケートを2回実施し、結果御後早急に対処した。また人権についての学習会や外部の団体を招聘し啓発活動を行った。
⑤本校30周年記念事業開催を機に保護者、地域社会にむけて本校の教育活動をは試飲することができた。

### 6 平成29年度の学校評価で明らかになった課題

①「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の職員間、保護者との連携と授業実践について。
②通学路の安全確認と防災教育について保護者、地域との連携が必要である。
③学級担任以外で相談できることを知らない保護者が3分の1程いる結果となった。校内の相談体制の構築及び発信を随時行っていく必要がある。
④ICT機器を活用した授業実践及び生徒一人一人にiPadが導入できるよう手続きを行っていく。
⑤学校でどのような教育活動が行われているか情報の発信と学校長の経営方針の周知の工夫が必要である。

### 7 平成29年度の学校評価を活かした平成30年度の改善点

①30年度より教育支援システムを導入し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の教職員間の共通理解を図り、学部間、教科等の繋がりを強化していく。
②PTA事業部の安全教育部を設置し、保護者と職員が連携した安全教育・防災教育の強化を図る。
③西崎特別支援学校ハンドブックを作成し、各家庭に配布し校内の相談体制の発信や情報提供に繋げていく。
④教育支援システムの導入に向けた人員配置の増員やiPadの導入を進め、幼児児童生徒がICT機器に慣れ親しむ環境作りに努める。
⑤学校長の経営方針等を学校説明会、授業参観等で発信するとともに教職員面談を通して学校経営の具体的取組について共有していく。